

2022年2月25日(金) 第2863回例会 形式:対面 天候:晴れ 合唱:我等の生業

## 会長 室伏 学 幹事 望月博文

事務所:神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内 TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716

例会場:ニューウェルシティ湯河原 例会日:毎週金曜日 12:30~13:30

### 会長挨拶

室伏 学

次年度の会長についてです。佐藤友彦会長エレクトの都合により、次年度と次々年度の会長を入れ替えることになりました。2022~23年度会長が青木義美会員、2023~24年度会長が佐藤友彦会員ということです。理事の皆様のご承認も得ております。急遽の会長就任をご快諾くださった青木会員に感謝申し上げます。また、急遽ということで、次年度幹事は私、室伏がお引き受けいたします。引き続きよろしくお願いいたします。

さて、2月21日に第8回会長幹事会がオンラインで開催されました。次年度の「ジェニファー・ジョーンズ」RI会長は初の女性会長で、カナダ・オンタリオ州「ウィンザー・ローズランド・ロータリークラブ」所属です。そして、2022-23年度のRI会長テーマは「イマジン ロータリー」です。

次に地区大会についてです。1日目の3月20日は縮小開催で会長のみでの開催だそうです。2日目の3月21日は通常開催なので、皆さん是非ともご参加ください。

第9グループの「オンライン新会員親睦会」は、3月10日に第5グループBと合同で開催されます。既にいくつかのグループで実施済みで、とても評判が良いとのことですので、ご都合のつく方は是非ご参加なさってみてください。

会員増強維持拡大の状況報告です。1月末時点の第9グループの会員数は2,269名で年度初めの2,244名から純増25名、目標の2,396名は難しい状況です。そんな中で第9グループはよくまとまっていて退会者も比較的少ない優秀なグループのようです。また、毎年、年度末に多くの退会者が出てしまうので、なるべく退会者が出ないように努めてもらいたいとのことでした。

グループ内の各クラブの例会開催状況です。小田原クラブは2月いっぱいリモート、箱根クラブは外部の方の出席をお断りしての通常例会、小田原北クラブはオンライン開催、小田原城北クラブは3月6日まで休会、小田原中クラブは弁当配布の例会や休会、足柄クラブは2月18日のみオンライン例会で他は休会、といった回答でした。各クラブの対応はまちまちですが、当クラブの卓話あり・会食なし・弁当配布という方式は、まあまあ意欲的な方かなという印象です。

来週3月4日は理事会開催、例会は前回や今回と同様です。無事に「まん延防止等重点措置」が明けて、3月11日から会食の通常例会が開催できることを切に願っております。

### 出席報告

会員	26名	出席率	92.00%
欠席	3名	前回の修正出席率	91.67%
(免除者)	1名	前々回の修正出席率	88.00%
ゲスト	1名	事前メイクアップ	0名
ビジター	0名		

ゲスト 野村證券小田原支店長 大村圭佑様

### 幹事報告

ガバナーより

1.地区大会開催のお知らせ

日時:3月20日(日)会長・幹事会

13:00~13:30 登録

場所:鎌倉パークホテル

日時:3月21日(月・祝)本会議

12:30~13:30 登録

13:30~17:29 本会議

18:00~19:30 大懇親会

場所:藤沢市民会館大ホール

### 連絡事項

3月の例会は4日、11日、18日の通常例会、25日休会となりますので、尚4日の例会はお弁当になりますので出欠のご連絡は前日までをお願いします。

### スマイルBox

入会記念日 高杉尚男君(23年・H11.2.5)

入会記念日 渡辺久恭君(16年・H18.2.3)

安江仁孝君 先週遅刻しました。以後気をつけます。

渡辺久恭君 例会遅刻しました。

佐東文介君

先週、欠席し、卓話を神谷さんをお願いしご迷惑おかけしました。

## 「コロナ禍と世界経済の動向」



本日は貴重な卓話の機会を頂戴しまして誠にありがとうございます。コロナ禍での例会運営にはご苦労が多いことと思います。せっかくいただいた機会ですので少しでも皆様のお役に立つ話ができれば幸いです。

本日のテーマはインフレ（継続的な物価上昇）です。す

で皆様も実感されているかもしれませんが、今後さらに影響が広がってくる可能性が高いインフレについて、足元の状況、その背景、今後の動向についてお話いたします。

## 【足元のインフレ状況】

日本でも年明け以降、各メディアで様々なモノの値上げが取り上げられています。その範囲はエネルギー、食品、日用品、と様々です。ガソリンや灯油、電気代などは前年同月比で 10～30%程度上昇しています。食料品や日用品は多すぎて例を挙げきれませんが、インスタント食品、菓子類、お酒、ティッシュペーパーなど様々です。あるインスタント食品製造会社では、取扱商品の 7 割が値上げ対象になっているそうです。安さが売りのファーストフードでも過去最高価格に値上げされたり、発売以来数十年値上げをしてこなかった駄菓子が初めて値上げに踏み切るといった事例が出ています。

海外の状況ですが、特に顕著なアメリカについて触れます。ニューヨークでは、家庭の電気代が前月比で 3 倍近くになった例があったり、値上がり大きい肉、アイスクリーム、洗剤などはスーパーマーケットを中心に万引きが増えているそうです。ロサンゼルスでもガソリンがこの 1 年で約 2 倍になったり、トイレットペーパーはコロナ前に比べて約 50%値上がりしています。また、日本で言う 100 円ショップ同様にアメリカでは 1 ドルショップがありますが、大手 1 ドルショップが全商品 1.25 ドルへの値上げを発表しています。

## 【インフレの背景】

なぜこれほど大幅なインフレが世界中かつ多品目で起きているのか、その要因は複雑ですが、大きく 3 つに分けてお話します。

一つ目はエネルギーですが、これはコロナ禍と関係なく起きています。SDGsや ESG 機運の高まり、特に気候変動への対

応が活発になったことで、化石燃料の供給拡大につながる設備投資が抑制されたことが要因です。一方で、まだ再生可能エネルギーだけでは人々の生活や企業活動に必要な量は賅えていません。そして、足元のウクライナ問題も資源価格の高騰に拍車をかけています。

二つ目は供給の問題です。コロナの感染拡大のタイミングに大きな地域差があり、経済が止まるタイミングがバラバラだったためグローバルサプライチェーンが混乱しました。特に致命的なのは半導体の供給不足で自動車やパソコン、住宅設備など広範囲に影響が出ています。

三つ目は需要の問題です。コロナ禍で様々なモノの需要が減ると思われましたが、在宅勤務の増加による PC やタブレット機器、巣籠り需要によるゲーム機、公共交通機関を使わず自家用車を使う機会が増えるなど、予想外に需要が増加しました。

## 【今後の動向】

今回のインフレの特徴は供給サイドの問題が大きいという点です。海外はウィズコロナで経済を止めなくなったため、徐々に収束に向かうとみています。ただし、需給が見合うには 1～2 年かかる可能性はあります。

また、インフレの急激な進行によって留意すべきは経済対策が変わることです。これまでの金融緩和策、利下げが逆方向に動きます。しかし、海外は利上げに動くものの、日本はまだ利上げできる状況ではありませんので、金利差拡大は為替に影響を与え、円安になると輸入物価のさらなる上昇に繋がる点は注意が必要です。

## 【インフレ下でも生き残る企業】

こうした環境下でも成長する企業はあります。米の P&G は値上げでも消費者が離れずに業績好調です。日本で東京ディズニーリゾートを運営するオリエンタルランドはコロナ禍でも値上げを実施し、足元の業績は厳しいながらも株価は過去最高値となっています。また、小田原でも、コロナ禍にも関わらず客足が途絶えない飲食店もあります。味はもちろん、ホスピタリティや食器など細部への拘りには感動すら覚えます。いずれも、蓄積したブランド価値がお客様を惹きつけています。

VUCA (Volatility 変動性、Uncertainly 不確実性、Complexity 複雑性、Ambiguity 曖昧性)の時代という言葉最近よく耳にします。世界のあらゆる所で今後も様々な不安要素が発生しますが、そのたびに世界経済は克服し成長を続けていきます。その過程で新しいサービスや価値を生み出せるか、あるいはその変化についていけるか、が重要なのだと思います。

(編集 2月会報担当:石川博/クラブ会報委員会)